HOT BOX

SCFB
Sakai City Fire Bureau

堺市消防局公式 Instagram

堺市消防局の「魅力」を随時配信中！

当消防局では、広報媒体としてインスタグラムを積極的に活用しています。

堺市総合防災センターで行われるイベント情報をはじめ、訓練の状況や火災予防に関すること、消防音楽隊のことや普段は見ることの少ない消防隊の一面等、幅広い内容をお届けしています。当消防局の今後の動向にご注目下さい！

新しい消防車両が配置されるたびに、色々な情報や写真をお知らせするよ～！

堺市総合防災センターでのイベント情報も盛りだくさん！みんなチェックしてね～！！

これらはほんの一部！インスタグラムでは動画もたくさんあるので是非フォローしてね！

HOT BOX

キャリア形成支援の取組について

当消防局では、職員のキャリア形成を支援する取組の一環として、令和７年度より「消防局内応援スキルアップ研修」を実施しています。

本研修は、消防局各課に勤務する毎日勤務者のうち希望する職員が、将来めざす姿の実現に向けて消防署へ派遣され、現場での実務を通じて必要な知識・技術を習得するものです。

また、各消防署では、育児休業取得の推進や長期研修派遣等により人員確保が課題となっており、本研修制度はこれらの課題解決の一助としても位置付けられています。

各消防署では、地域の特性や実情を踏まえた研修内容を用意し、実りある研修となるよう体制の整備を図っています。

毎 日 勤 務

消 防 署 勤 務

HOT BOX

堺市消防局災害活動支援隊

当消防局では、近い将来に発生が懸念される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震等大規模災害発生時に、同時多発する火災・救助・救急事案に迅速かつ的確に対応するため、平成 27 年９月１日に「災害活動支援隊」を発隊しました。

この災害活動支援隊は、本市の区域内で大規模な災害が発生した場合において、消防局長の命を受け、消防局及び消防署が行う消防活動を支援することを任務とし、本市の消防局 OB 職員で構成する組織です。

災害活動支援隊の令和８年４月１日現在の隊員数は、69 名となっています。

今後も住民の更なる安全・安心の確保と災害に強いまちづくりを推進してまいります。

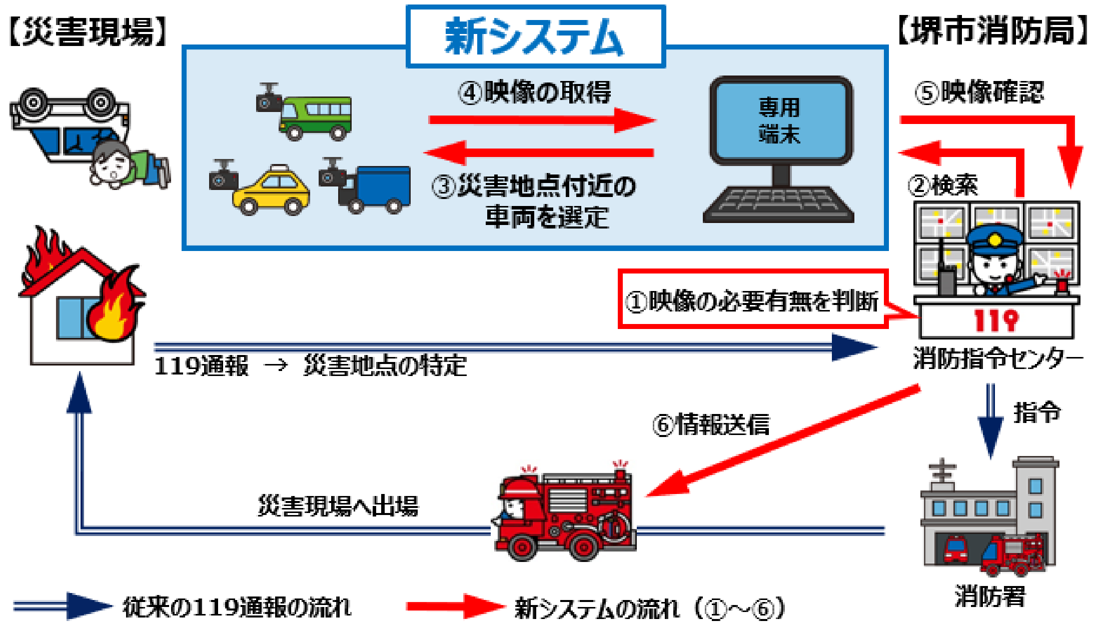
近畿地方整備局・堺市総合防災訓練

HOT BOX

DRIVE RECORDER119

～迅速かつ的確な現場把握～

「DRIVE RECORDER119」は、当消防局とトヨタ自動車株式会社が共同実証により、本格運用したドライブレコーダーの映像を消防活動に活用する新たなシステムです。このシステムは、選択した車両のドライブレコーダーの映像を消防指令センターのオペレーターが閲覧できるもので、現場の状況を迅速かつ的確に把握するために利用されます。



① 消防指令センターのオペレーターが現場の映像を必要とする事案かどうか119通報から判断

② ①で必要と判断した場合、システムにて事案発生地点を検索

③ ドライブレコーダー装着車両のGPS情報を利用し、災害地点付近を走行する車両を選定

④ 対象車両のドライブレコーダー映像を閲覧

HOT BOX

応急手当感謝カード

－誰かを救おうとした、その行動に「感謝」と「安心」を－

　応急手当の普及啓発をさらに一歩進める取組として、「応急手当感謝カード」の運用を開始しました。本取組は、救急現場に居合わせ、AED の搬送や心肺蘇生、止血といった応急手当を実施した方に対し、感謝の意を示すとともに、事後に生じ得る不安に対応し、誰もが安心して応急手当が実施できる環境を整えることを目的としています。

　応急手当は、尊い人命を救うための重要な行動である一方で、応急手当実施者にとっては強い緊張や戸惑いを伴う非日常の体験です。「適切な対応だったのか」「感染症にかかってないか」等、実施後に心的・身体的な不安を抱えるケースも少なくありません。

　応急手当感謝カードには、そうした不安に対する相談窓口や支援制度の案内を記載しており、応急手当実施者が一人で悩みを抱え込まないよう、消防として寄り添う姿勢を示しています。単なる謝意の表明にとどまらず、事後の不安解消につなげる仕組みであることが本取組の特徴です。

　「助けたい」という思いで行った救命行動が、後々、自身を苦しめることにならないよう、今後も応急手当を行った住民の思いに寄り添いながら、誰もが安心して救命行動に踏み出せる体制づくりに取り組んでいきます。

HOT BOX

リチウムイオン電池火災に対する予防啓発について

近年増加しているリチウムイオン電池が起因する火災への対策として、環境局やごみ収集事業者、メディア等の関係機関と連携し、多角的な予防啓発を実施しました。

具体的には、ごみ収集車による巡回広報や、区交流まつり等における不要なリチウムイオン電池使用製品の回収及び誤廃棄による火災の注意喚起、SNS やメディアを活用した情報発信を行いました。さらに、自衛消防訓練や立入検査時における住民・事業所への直接指導、予防啓発活動に活用するため組織内で火災原因調査結果の情報共有にも取り組みました。

その結果、住民に対するリチウムイオン電池の危険性や適切な廃棄方法に関する理解が促進され、火災発生リスクの低減につながったものと考えています。特に、ごみ収集車による巡回広報については、実施以降、誤廃棄によるごみ収集車火災が発生しておらず、一定の効果が確認されています。

今後も関係機関との連携を継続し、リチウムイオン電池火災の防止に取り組みます。

HOT BOX

「地域担当」活動報告

「地域担当」は地域における防火・防災に関する課題に柔軟に対応し、住民の防災力向上を図ることで、火災やその他の大規模災害による被害を軽減することを目的に、次のとおり取り組んでいます。令和８年４月現在、総合防災センターと堺消防署、南消防署に配置されており、今後、配置署を増やしていく予定です。

◆地域担当の主な役割

- 地域における防火防災指導
- 防火防災に関する市民相談や地域課題への対応
- 市民活動団体や事業所が行う地域防災活動への支援

◆主な活動例

地域の防災訓練での指導

学校での防災教育

事業所研修の支援

HOT BOX

事務執行体制の見直しに伴い、令和８年４月より危険物保安課は従来の危険物係、保安係から危険物係、保安係、コンビナート係の３つの係に生まれ変わりました！！

３係となった目的の１つ目は**『事務体制の合理化・本部機能の強化』**です。特定事業所の所管を一本化し事務執行体制の合理化を行うことで効率の良い業務を展開するとともに、本部機能としての企画機能の強化を図りました。

目的の２つ目は**『１０年先を見据えた体制構築・人材育成』**です。特定事業所に対して危険物・高圧ガスの一体的な指導ができる職員を育成し、防災・減災指導の高度化・専門化を実現します。

今後、危険物係、保安係、コンビナート係の各係では以下の業務を行います。

危険物係

課の庶務及び危険物規制にかかる消防局全体の庶務・企画・統計等、本部機能としての多岐にわたる庶務事務を担います。各署の予防課や防災センターと主にかかわるのも危険物係となります。

保安係

特定事業所以外の各種届出の受付や立入検査を主とした保安３法（高圧ガス保安法、LP 法、火薬類取締法）事務及び連携機構おおさか等の保安３法にかかる庶務事務を担います。

コンビナート係

特定事業所にかかる消防法・石災法・保安３法の申請・届出及び各種検査や事故対応を担います。特定事業所とは第１種事業所、第２種事業所として石災法の適用を受ける事業所の総称で管内に２８事業所あります。

これまでは堺消防署、西消防署、高石消防署において第２種事業所の石災法や危険物の申請等を所管していましたが、今後はその事務を引き上げ、これらの事務はコンビナート係の所管として一元化されています。

HOT BOX

堺市美原消防団の活動について

消防団は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域住民の生命、身体、財産を守るため設置されており、消防団員は各自職業（生業）に就きながら、火災等災害の予防・警戒等をはじめ、地域住民への訓練指導等、様々な活動を行っています。

令和７年度の各種災害出場及び行事等参加実績は火災４回（延２５人）、特別警戒３２回（延２１１人）、演習・訓練等５２回（延３３５人）、その他４１回（延２１０人）の合計１２９回（延７８１人）となりました。